
大学院セミナー

日時：平成 22 年 10 月 21 日（木）

17：00～19：00

場所：医学部基礎研究棟 1 階

カンファレンスルーム

I. バイオメディシンの市場と研究の動向

～乳がん診断マーカーのトレンド～

染原 俊朗 博士

CEO of Bio Renaissance Australia Pty. Ltd.

II. バイオ医薬品における糖鎖の重要性

近藤 昭宏 博士

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

招聘教授

京都工芸繊維大学遺伝資源キュレーター教育

研究センター 特任教授

■染原博士は、京都大学で化学工学を専攻され、(株)島津製作所で環境や医学医療分野の分析技術の開発を担当されました。Shimadzu Oceania Pty. Ltd に出向の後にプロテオミクスの提唱者 Mark Wilikins 等が設立した Proteome Systems に入社後トランスレーショナルリサーチ用のプラットフォーム開発を担当され、現在 Bio Renaissance Australia 社を設立され、オーストラリアの政府機関と共同で、治験や臨床開発のアライアンスやバイオマーカー探索ネットワークの構築を担当しておられます。

■近藤博士は、岐阜大学で農学を専攻され、宝酒造(株)中央研究所の主任研究員やタカラバイオ(株)DNA 機能解析センター主任研究員を経て、大阪大学大学院医学系研究科糖鎖治療学(タカラバイオ)寄附講座教授にご就任され、その後同大学院保健学専攻の招聘教授として現在に至っておられます。ご専門は糖鎖化学で、ヒトプロテオーム機構 HUPO の Glycomics Initiative では多大な貢献をされています。今回、企業の研究戦略や人材育成なども含めてご紹介いただきます。大学院生や教職員のみならず学部学生諸君の参加を歓迎いたします。

問い合わせ先：プロテオーム・蛋白機能制御学部分野

(生化学第一講座) 中村和行 22-2212
